『標準整形外科学 第 15 版』正誤表

このたびは『標準整形外科学 第 15 版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
第 1 刷（2023 年 2 月 1 日発行）、第 2 刷（2024 年 2 月 1 日発行）、第 3 刷（2025 年 1 月 1 日発行）におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2023 年 6 月 14 日作成　2024 年 12 月 3 日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	p.260・表 17-7 表中「構造」欄 2 行目	IgG-Fc 合蛋白	IgG-Fc 融合蛋白	2023/6/14
1	p.443・図 27-1 図中表記	菱形靱帯 円錐靱帯	円錐靱帯 菱形靱帯	2023/6/14
1	p.555・右段 下から 3 行目	…，遷延癒合例や胸骨骨折を伴った…	…，遷延癒合例や胸椎骨折を伴った…	2023/7/6
1	p.362・右段・5 行目	…の長管骨骨幹端から骨幹に…	…の長管骨骨幹端から骨端に…	2023/9/29
1～2	p.729・左段・16 行目	活動時には背屈制限のテーピングを行うが,	活動時には底屈制限のテーピングを行うが,	2024/7/29
1～3	p.292・右段・上から 12 行目	0.90 以下では…	0.90 未満では…	2024/12/3
1～3	p.293・右段・下から 12 行目	ABI 0.09 未満をもって…	ABI 0.90 未満をもって…	2024/12/3

医学書院